

子宮頸癌に対する放射線治療の効果および放射線後再発に対する 二次治療の効果に関する研究

1. 研究の対象

当院で 2005 年 1 月から 2023 年 1 月までの間に、子宮頸癌に対する放射線治療を受けられた方、また、その後に再発し治療を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間：所属機関の長の研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日

研究目的： 子宮頸癌に対する現行の放射線治療の課題を明らかにすることです。

研究方法： 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、放射線治療情報、背景因子、治療方法、予後などを評価します。また、手術で摘出した腫瘍組織の免疫組織化学染色を行い、免疫組織化学染色の評価と予後を比較検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢・BMI・合併症背景・放射線治療情報（方法・効果・副作用）・腫瘍情報（Stage・組織型など）・再発の有無と再発治療の情報・予後情報等

試料：手術で摘出した組織

4. 外部への試料・情報の提供

主たる研究機関への情報の提供は、パスワード設定されたポータブル HDD を送付することで 行います。手術で摘出した組織は匿名化された状態で主たる研究機関へ郵送されます。

なお、提供される情報・試料は匿名化され、対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

大阪国際がんセンター 前田 通秀

共同研究機関及び研究責任者

市立貝塚病院 横井 猛

大阪警察病院 香山 晋輔

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 婦人科

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表（責任）者： 前田 通秀

-----以上